

## 荒谷 啓一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 加賀温泉駅周辺施設整備事業について	<p>(1) 加賀温泉駅高架下都市施設伝統工芸品制作業務について</p> <p>本事業は、令和3年12月定例会において、山中漆器・九谷焼の両業界から、作品制作が間に合うか心配との声があることを申し上げた。</p> <p>北陸新幹線加賀温泉駅開業に向け、業界との連携や進捗状況及び今後の予定を示せ。</p>
	<p>(2) 山中漆器の発信・振興施設について</p> <p>資料収集や保存・展示、文化の振興・発展や向上などを目的とした市の設置条例に基づく施設として、九谷焼には美術館と窯跡展示館があるが、山中漆器関係の施設はない。</p> <p>輪島市（輪島塗）と鯖江市（越前漆器）も設置条例に基づく市の施設がある。</p> <p>全国最大の産地である山中漆器に対し、市として、条例に基づく発信や振興施設設置への所見を問う。</p>
2 防災緊急情報伝達システム（防災行政無線）整備事業について	<p>令和元年度から市政懇談会において、多くの地区で防災行政無線の屋外スピーカーが聞こえづらいとの意見があったが、今回の整備事業でどこまで改善・対応ができるのか。</p> <p>また、整備箇所や内容など、事業の概要を示せ。</p> <p>さらに、令和3年度の市政懇談会では、西谷地区と東谷地区から改善要望が出されているが、それらの対応は今回の整備事業に含まれているのか。</p>
3 道明橋 架け替え工事について	<p>あやとりはしの直下に位置する、国指定名勝「おくのほそ道の風景地 道明が淵」の中央に架かる木橋の道明橋は、経年劣化により危険な状態となったため、令和3年8月に撤去されている。従前に比べ、さらなる橋梁の長寿命化を図るための工法が施されると思うが、工事の概要を示せ。</p>

## 荒谷 啓一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
4 合葬墓について	<p>少子高齢化や核家族化により、将来における墓地管理の後継者がいないなど、近年の多様化する墓地需要に対応する新たな選択肢として、合葬墓のニーズが急速に高まっている。</p> <p>既に県内では、輪島市、津幡町、内灘町、白山市において整備され、令和4年度に入り、小松市、能美市に続き、野々市市が来月のオープンを予定し、かほく市がアンケート結果を踏まえて来年度の着工を目指すとのことである。</p> <p>これらの報道を受け、加賀市でも合葬墓の設置に対する要望が増えている。</p> <p>市では、令和2年9月定例会と令和4年3月定例会における同様の質問に対し、「現在のところ設置する考えはないが、市内の状況やニーズ等の動向を注視していきたい」という旨の答弁であったが、現在の所見を問う。</p>
5 市職員の長期病気療養及び休職について	<p>コロナ禍に加え、「こころの病」が原因で長期の療養を要し、休職している職員が多いことについて、市民から指摘を受ける。</p> <p>その業務を肩代わりしている職員への負担増が不満や疲弊につながり、さらには、職場環境に悪影響を与え、市民サービスの低下や市の信用にも関わると思われる。</p> <p>また、産休や育休が取りづらい環境になることも危惧される。</p> <p>市として、長期病気療養者の現状分析（実態・原因・他自治体の状況）などを行っているのか。</p> <p>加えて、未然に長期病気療養となることを防ぐための対策を問う。</p>

中川 敬雄 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 教育長退任に当たっての所感について	<p>夏の甲子園での優勝校、仙台育英高校の須江監督の優勝インタビューでは、コロナ禍における生徒への思いが大きな話題になった。</p> <p>山田教育長におかれても、就任してから間もなく発生した新型コロナウイルスの影響により、学校現場において奮闘されてきたと思われる。9月末に退任されるということであり、心からねぎらいを申し上げたい。</p> <p>コロナ禍の中では、小・中学校においても様々なことがあったと思うが、勇退するに当たっての教育長としての思いをお聞きしたい。</p>
2 学校給食費の保護者負担軽減事業について	<p>今補正予算では、小・中学生の給食費が第2子分、第3子分だけでなく、第1子分についても2学期分及び3学期分から完全無償化となることとしている。</p> <p>今回は国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源として充てることができるが、それ以降はこの無償化策をどのようにしていくのか。</p>
3 加賀ライズタウン事業について	<p>今年、3年ぶりに行われた議会報告会では、加賀温泉駅周辺の活性化について様々な意見が出された。</p> <p>市内に若者たちが楽しめる場所がないなどと言われる中、加賀温泉駅周辺における加賀ライズタウン構想は、非常に期待感を抱かせる事業である。</p> <p>構想を実現するには、市として様々な協力が必要となり、民間事業者を誘致し、開発を目指すとのことだが、どのような施策を考えているのか。</p>
4 加賀温泉駅の南北の行き来について	<p>今補正予算でも、加賀温泉駅の南北を結ぶ地下自由通路の改修予算が上がっている。</p> <p>また、問題となっていた南北地下自由通路の代替策も、市当局の努力により、ようやく8月から在来線の地下通路が利用できるようになった。</p> <p>これらの加賀温泉駅の南北の行き来について、現在の運用状況を問う。</p>
5 全日本大学ゴルフ選手権競技開催助成事業について	<p>(1) 事業内容の詳細について</p> <p>事業の内容について、詳細を示せ。</p>

中川 敬雄 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
5 全日本大学ゴルフ選手権競技開催助成事業について（つづき）	<p>（2）参加関係者への助成について</p> <p>加賀市では、これまでもプロテストなど様々なゴルフの競技会が行われているが、関係者の多くは小松市に宿泊していると聞く。その理由は、加賀市には素泊まりができる安い宿泊施設が少ないということや、あってもその近隣にあまり飲食店がないためだと言われている。</p> <p>加賀市には、温泉旅館が多数あるにもかかわらず、宿泊地として選ばれていないのは、大きなビジネスチャンスを逸していると考えられる。</p> <p>このような状況に対し、助成等の対策を打つべきだと思うが、所見を問う。</p>
6 ゴルフによる観光活性化について	<p>ゴルフは、コロナ禍において密にならないスポーツとして、世界的に人気回復している。</p> <p>加賀市は、全国でも有数のゴルフ場の多い地域でもある。その中には、片山津ゴルフ倶楽部という日本有数の名門コースもある。</p> <p>コロナ禍からの回復後のインバウンド需要を見据え、もっとゴルフを前面に出した観光PRが必要ではないかと思うが、所見を問う。</p>
7 ドローンを飛ばせる環境づくりについて	<p>令和4年6月定例会において、上田議員が、ドローンを公共施設で安全に飛ばすため、飛行の許可について定める例規等を制定してはどうかと尋ねたところ、4月15日に指定された国家戦略特区も活用しながら、誰もが安全に、自由にドローンを飛ばせる環境づくりを目指していきたいという答弁があった。</p> <p>しかしながら、最近、規制の対象外となる屋内の体育施設等での飛行の許可を申し出た方に対し、「前例がない」という理由で許可が下りなかったという事例があったようだ。</p> <p>市当局は、ドローンを活用した加賀市発のドローンビジネスモデルの創出、市内企業へのドローンの導入、市民生活向上のための地域課題の解決を目指すなどとしているが、まだまだスピード感が足りないように思う。</p> <p>屋外でドローンを飛ばすことが難しくなった今、体験会などを気軽に行えるように体育施設等でもドローンの飛行を受け入れるようにすべきだと思うが、所見を問う。</p>

中川 敬雄 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
8 コロナ禍における 原油価格・物価高騰 対策について	<p>今補正予算では、漁業者への漁船燃料費支援の対策が盛り込まれている。これも非常に重要なことだが、隣市の小松市をはじめ他の自治体では、運輸事業者に対しても支援金を出しているところも少なくない。</p> <p>加賀市でもそのような支援を求める声を多く聞くが、そのような運輸事業者への支援を考えているのか。</p>

## 今津 和喜夫 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 山中温泉菊の湯第二の介護湯について（持込み資料No. 1）	介護湯の障がい者リフトが約3か月余り故障したままと聞く。早急な修理をすべきと思われるが、所見を問う。
2 山中温泉ゆけむり健康村について	(1) ゆけむり健康村・市民説明と意見を聴く会について  2回の説明会を終え、参加者の声をどのように感じたか。また、その内容についてどのように分析したのか。
	(2) 山中温泉ゆけむり健康村の今後の在り方について  山中温泉ゆけむり健康村検討委員会は、令和3年3月から同年10月まで実施され、検討委員会としてまとめられたものが同年12月に提出された。 14名の委員メンバーも加賀市全体のバランスを配慮した委員構成に変更され、市として山中温泉ゆけむり健康村の在り方に対する委員会へと万全の体制になったと思われる。 この委員会から提出された提案書はどのような扱いとなっているのか。 また、なぜ、尊重されていないのか。
	(3) 同一施設における委員の兼務について  山中温泉ゆけむり健康村検討委員会のアドバイザーであった武田氏が、加賀市公共施設マネジメント外部検討委員会の座長となった。 今年の2月から6月にかけて公共施設マネジメントの検討がされ、山中温泉ゆけむり健康村検討委員会では、温浴施設においては存続との意見だったが、加賀市公共施設マネジメント外部検討委員会では、市としての継続は困難との意見に変わった。 異なる委員会において、同一の委員の起用は控えるべきだと思われるが、所見を問う。

## 今津 和喜夫 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
2 山中温泉ゆけむり健康村について （つづき）	<p>（4）加賀市公共施設マネジメント外部検討委員会の報告について</p> <p>報告書の内容では、利用者が平成3年の建設当時と比べてピーク時から3割減少しているとあるが、ピーク時からいまだに7割をキープしていると表示すべきであるが、所見を問う。</p>
	<p>（5）過疎債を利用した建て替えについて</p> <p>築30年以上経過した山中温泉ゆけむり健康村や複合施設を他の温浴施設と単純に比較するのではなく、過疎対策事業債によって建て替えるべきであると考え。維持するための改修費等を試算したとあるが、どのような内容で試算したのかを示せ。</p> <p>また、過疎対策事業債によって建て替えできれば、今後、20年間の経費のシミュレーションを低く是正するものではないか。</p> <p>さらに、過疎対策事業債を活用しての建て替え方法によるシミュレーションの変動を示せ。</p>
	<p>（6）他の施設との比較について</p> <p>加賀市公共施設マネジメント外部検討委員会の報告書では、温浴施設について、指定管理者の事業収支においても赤字が続いており、類似施設に比べ収益性が著しく低い施設とあるが、コロナ禍の影響が少ない令和元年度決算で加賀市中央公園全体の複合施設と山中温泉ゆけむり健康村を比較しても加賀市中央公園全体で、年間28万1,886人、経費は1億6,862万円、山中温泉ゆけむり健康村は年間24万812人、経費は5,048万円である。</p> <p>山中温泉ゆけむり健康村のこの数字は市の施設として立派な数字であり、温泉観光都市である加賀市が温泉複合施設を継続することは加賀市の魅力向上につながり、今後も活用すべきと思われるが所見を問う。</p>

今津 和喜夫 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
2 山中温泉ゆけむり健康村について（つづき）	<p>(7) テニスコートについて</p> <p>加賀市には、屋外テニスコートが21面あるが、3面が使用不可となっており、18面のテニスコートが使用可能である。</p> <p>テニスは、人口減少が進む中でも、大会の開催や交流会の開催によって交流人口の増加を促し、今後も増加が期待されるスポーツである。</p> <p>山中温泉ゆけむり健康村検討委員会では削減、加賀市公共施設マネジメント外部検討委員会では廃止となっているが、観光都市である加賀市として、テニスコートの面数は幾つが適切と考えているのか。</p> <p>また、ナイター利用料金が県内一高い設定であると思うが、理由を問う。</p>



## 林 直史 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 加賀市・小松市・能美市 北陸新幹線開業合同プロモーション事業について	<p>北陸新幹線敦賀開業を見据え、小松市・能美市と連携してプロモーションを行い、認知度の向上と誘客促進を図る目的で、650万円が計上されているが、事業内容の詳細を示せ。</p> <p>また、加賀温泉駅開業まで1年半となり、開業準備委員会の立ち上げ、市を挙げての「おもてなし」の体制づくりなど、業界や各種団体・市民が一体となって、開業への機運を高めていかなければならない時期に来ているが、現時点において、コロナ禍前よりも盛り上がりには欠けているように感じる。</p> <p>開業効果を最大化し末長く享受するために、これからの1年半、市としてどのような取組を展開していく予定であるのか。</p>
2 学校給食費の保護者負担軽減事業について	<p>小・中学校において、保護者の負担を増やすことなく給食の質・量の確保を図ることを目的として8,700万円が計上されている。</p> <p>これまで第2子以降は無償化されていたが、今回の予算案では、第1子分の学校給食費も市が負担をし、事実上、完全無償化となる。</p> <p>保育料や学校給食費などは一旦下げるとなかなか上げられないのが通例であり、学校給食費の完全無償化は、来年度以降も継続される恒久的なものと理解してよいのか。</p>
3 不妊治療費助成事業について	<p>（1）助成制度の利用状況と見直しの概要について</p> <p>本年4月からの不妊治療の保険適用に伴い、6月から県は新たな助成制度を創設した。</p> <p>保険適用治療に併せて行われる先進医療を対象とし、費用の7割、上限15万円の2分の1を県が助成し、市の助成に併せて、同額を県が上乗せ助成するものである。</p> <p>本市の不妊治療費助成事業は、より安心して不妊治療を受けられるための事業であると理解しており、少しでも市民の負担を軽減し、よりよい助成制度にすることが重要であると考えます。</p> <p>そこで、令和3年度の加賀市における不妊治療費助成の利用状況を尋ねる。（一般不妊治療、特定不妊治療の助成件数、助成金額、出産件数など）</p> <p>また、この助成事業の概要を示せ。</p>

## 林 直史 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
3 不妊治療費助成事業について （つづき）	<p>（2）利用者の負担が増える場合について</p> <p>一般不妊治療や生殖補助医療の保険適用、また、今回提案の助成制度の見直しにより、原則、自己負担なしで治療を受けることができるようになる。</p> <p>一方、オプション的な先進治療を合わせると、全ての治療が保険適用外となり、市が最大30万円を助成しても、利用者の個人負担が増えるケースが考えられる。</p> <p>せっかく不妊治療が保険適用になったにもかかわらず、利用する市民の負担が多くなるのでは本末転倒である。</p> <p>そこで、今回の助成制度の見直しにより、こうしたケースはどれくらい想定されるのか。</p> <p>もしあるとするならば、助成額の上限を引き上げるべきと考えるが、所見を問う。</p>
4 帯状疱疹ワクチン接種にかかる費用負担の軽減について	<p>痛みを伴う水膨れが帯のように出現する帯状疱疹は、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症すると言われている。</p> <p>加齢、疲労、ストレスなどによる免疫力の低下が原因で、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、発症する高齢者が増えている。</p> <p>帯状疱疹ワクチンは、予防だけでなく重症化を防ぎ、また、帯状疱疹後神経痛に移行しにくいとされているが、水痘ワクチンは1回の接種で8,000円程度、帯状疱疹ワクチンは1回2万円程度の接種が2回必要であり、全額自己負担である。</p> <p>助成金を出している自治体が増えているが、市として一定の年齢層を対象に、帯状疱疹ワクチン接種への助成を進めるべきと考えるが、所見を問う。</p>

山口 忠志 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
<p>1 国民文化祭「いしかわ百万石文化祭2023」について</p>	<p>来年度、第38回国民文化祭「いしかわ百万石文化祭2023」が行われる。県内各自治体では独自事業を行うとのことであり、加賀市においても今年度の当初の段階ではその独自事業の骨子は固まっていたと思われる。この時期において、詳細な事業内容が決定していると考えますが、その内容を示せ。</p>
<p>2 加賀市公共施設マネジメントについて</p>	<p>昨年度末に、加賀市の公共施設の一部喫緊の課題検討のため、加賀市公共施設マネジメント外部検討委員会を設置し、早い段階でその答申が出された。いまだに施設の方針は決定していないが、これまでにないスピード感を持って取り組んだことは大いに評価したいと思う。</p> <p>これまで加賀市公共施設マネジメントの取組が将来の財政的なものも含めて重要であると何度も申し上げてきており、遅々として進んでいなかったように思えるが、今回の取組のように、今後はスケジュールを前倒しして公共施設マネジメントを進める方針はないのか。</p>
<p>3 納骨堂及び合葬墓について</p>	<p>近年、納骨堂及び合葬墓を自治体で整備してほしいとの要望をよく聞く。実際に小松市でも整備されており、かほく市でも整備に着手するとのことである。</p> <p>加賀市においても、この問題は、市民の意識調査を行っていく段階にきていると思われるが、所見を問う。</p>
<p>4 （仮称）柴山潟周辺土地整備事業について</p>	<p>（1）整備方針と整備スケジュールについて</p> <p>現在、加賀市土地開発公社でおおむね土地の取得が完了していると聞いているが、都市計画課のほうで具体的な整備方針の検討に入っているのか。</p> <p>また、馳知事は、6月14日の石川県議会予算委員会において、「2030年に全国育樹祭を県内に誘致したい」と語ったが、これは2015年に木場潟公園で行われた第66回全国植樹祭から15年目という節目での誘致決意だと考える。</p> <p>そのようなことも視野に入れながら、ぜひこの機会に加賀市に目を向けていただき、整備スケジュールを組むべきと考えるが、所見を問う。</p>

## 山口 忠志 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
4 （仮称）柴山潟周辺土地整備事業について （つづき）	<p data-bbox="502 365 1061 398">(2) オートキャンプ場などの整備について</p> <p data-bbox="513 443 1433 555">近年、自然の中で開放感を感じるキャンプ、オートキャンプ及びグランピングなどが大流行している。これは一過性のものではなく、ますます需要が高まってくるものとする。</p> <p data-bbox="513 562 1433 636">本事業に際しては、言うまでもなく最高の眺望を生かし、時代を先取りした最新のオートキャンプ場を整備すべきと考えるが、所見を問う。</p>
5 職員の休職について	<p data-bbox="502 728 973 761">(1) 加賀市職員の休職状況について</p> <p data-bbox="513 801 1433 913">加賀市職員について、主にメンタルの不調により休職している一般事務職、病院、保育士、消防職及び市内小・中学校の教職員の職種ごとの休職者数を示せ。</p>
	<p data-bbox="502 1003 885 1037">(2) 休職者数の認識について</p> <p data-bbox="513 1081 1433 1193">休職者の数について、他の自治体と比較した数値を示せ。 また、民間企業と比較すると明らかに多いと感じるが、こういった現状をどのように捉えているのか。</p> <p data-bbox="502 1283 949 1317">(3) 各部署における影響について</p> <p data-bbox="513 1361 1433 1473">休職者がそれぞれの部署にいと、それだけその部署での職員の仕事の負担が増すと思われるが、その影響についてどのように考えているのか。</p> <p data-bbox="502 1563 1029 1597">(4) メンタルヘルスケアの取組について</p> <p data-bbox="513 1641 1433 1709">市として、心身の病にならないようなメンタルヘルスケアの取組はあるのか。</p>

## 上野 清隆 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 災害時における障がいのある方の避難について	<p>(1) 避難行動要支援者名簿の作成状況について</p> <p>障がいのある方は避難に時間がかかると想定され、身体・知的・精神・視覚・聴覚と様々な障がいのある方に対応・配慮した避難指示・避難訓練が必要であると考えます。</p> <p>障がいのある方は、加賀市地域防災計画では「要配慮者」に位置づけられているが、この計画の要配慮者対策にある「避難行動要支援者名簿」の現在の作成状況について問う。</p> <p>また、こうした個人情報適切に管理する必要があるが、どのように管理され、災害時にはどのような手順で活用するのか併せて問う。</p>
	<p>(2) 障がいのある方に配慮した防災訓練について</p> <p>11月には加賀市総合防災訓練が予定されていると聞くが、障がいのある方に対応・配慮した訓練内容となっているのか。</p> <p>また、実際に災害が発生したときスムーズに対応するには、こうした訓練を各地区や町内会の防災訓練・避難訓練において、きめ細かく繰り返し行う必要があると考えられる。そのためには、市からの働きかけが必要であると思われるが、市の取組方針について問う。</p>
2 带状疱疹ワクチン接種費用の助成について	<p>带状疱疹は水疱瘡と同じウイルスが原因で発症する皮膚の病気であり、場合によっては神経損傷につながり、角膜炎等の合併症を引き起こすこともある。また、治癒後も带状疱疹後神経痛に悩まされることがあると聞く。</p> <p>予防策としては带状疱疹ワクチンの不活化ワクチンの2回接種が有効とされており、1回の接種で2万2,000円、2回の接種で4万4,000円の費用がかかり、これは任意接種のため、全額自己負担となっている。</p> <p>将来的に高い発症率となる病気に対してのワクチン接種に助成することは、市民に安心感を与えることにつながると考えるが、所見を問う。</p>

上野 清隆 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
3 新型コロナウイルス陽性者及び濃厚接触者への自宅療養・待機支援サービスについて	<p>現在、新型コロナウイルス第7波で陽性者数が高止まりになっている。それに伴い外出を自粛する濃厚接触者も増加している。濃厚接触者であっても感染対策を行った上での日常生活用品の買い物は可能であるが、周囲の目が気になりストレスになっていることが多いと聞く。</p> <p>こうしたことから県においては、食事等の自宅療養支援サービスを実施しているとのことであるが、あまり浸透していないように思われる。独自の支援策を行っている自治体もあるようだが、加賀市においてもウィズコロナを見据えた独自の支援策が必要と考えるが、所見を問う。</p>

## 東野 真樹 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 防災緊急情報伝達システム（防災行政無線）整備事業について	<p>(1) 屋外拡声スピーカー増設整備について</p> <p>100ワットのスピーカーを20基追加で整備することであるが、設置箇所及び能力アップをすることによる効果を示せ。</p> <p>また、音声伝達シミュレーションをするに当たり、台風や豪雨時などの聞こえにくい状況を考慮しているのか併せて問う。</p>
	<p>(2) 戸別受信機整備について</p> <p>①進捗状況について</p> <p>コロナ禍の影響で住民説明会ができず、配置が一時遅れていたが、予定している令和5年度までに全戸配置できるのか、現在の進捗状況を示せ。</p>
	<p>②通信環境の整備について</p> <p>各家庭に配置した当初は受信不良が多く、改めて受信電波のシミュレーションを行い、送信アンテナの出力増強及びアンテナからの電波の中継を増強したとのことであるが、改善した結果はどうだったのか。</p> <p>また、現在配置している中で新たな不具合などは出てきていないのか。</p> <p>これまでに行った整備結果と現在の通信環境の状況について問う。</p>
2 ツキノワグマ対策について	<p>(1) 市の予想について</p> <p>ツキノワグマの出没傾向を早期に予測するため、県はブナの開花状況の調査を行い、その結果、今年の秋は熊の主要の餌である木の実が不足するとの予想がされたため、5月にはツキノワグマ出没警戒準備情報を発令し、7月にはツキノワグマ出没注意情報を発令し、注意、警戒を図っている。</p> <p>この事例を受けて、加賀市としても独自調査を行っているのか。</p> <p>さらに、これまでの出没数や餌の状況などを考慮した上で、今年度どのように分析し、出没状況を予想して対策していくのかを問う。</p>

東野 真樹 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
2 ツキノワグマ対策について （つづき）	<p>（2）生息環境調査について</p> <p>昨年の6月定例会の答弁で、生息環境調査を実施するとのことであったが、その後、実施しているのか、現在の進捗状況を問う。</p>
	<p>（3）加賀市クマ出没防止環境整備事業助成金について</p> <p>市では、町内会に対し熊の出没を防止するために行う果実の除去や草木の伐採等に係る経費を助成しているが、令和3年度と今年度の実績を示せ。</p> <p>また、対象は町内会のみとなっているが、生産組合など、その他の団体が行う場合も対象にしてはどうか、所見を問う。</p>
3 加賀市・小松市・能美市 北陸新幹線開業合同プロモーション事業について	<p>（1）事業内容について</p> <p>①事業の進め方と開催地について</p> <p>小松市及び能美市と連携して、3市が合同でプロモーションを行うとのことであるが、3市が一体となって取り組むことで、これまでとは違った各市の特徴を生かした広域でのプロモーション事業ができると思われる。</p> <p>3市が合同してどのような取組を行っていくのか。</p> <p>また、開催場所は首都圏のみであるのか、併せて問う。</p> <p>②お祭りやイベントを利用した観光誘客の推進について</p> <p>金沢市と比べて、加賀温泉郷や辰口温泉の弱みは観光客が周遊する場所が少ないことである。3市のお祭りやイベントをまとめたイベントカレンダーやパンフレットなどを製作し、PRをすることで、周遊性が向上し、観光誘客の推進につながると思われる。</p> <p>観光地をPRする上において、この事業に取り入れられるよう検討してはどうか。</p>



東野 真樹 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
3 加賀市・小松市・能美市 北陸新幹線開業合同プロモーション事業について（つづき）	<p data-bbox="507 405 770 434">(2) 事業費について</p> <p data-bbox="515 486 1433 555">加賀市200万円、小松市300万円、能美市150万円となっているが、事業費の割合は何を基準にして決定したのか。</p>
4 広域連携での公共交通について	<p data-bbox="515 685 1433 754">北陸新幹線開業に向け、公共交通の面でも加賀市、小松市及び能美市の3市が連携することで利便性向上が図られると思われる。</p> <p data-bbox="515 763 1433 954">特に、現在、加賀温泉駅から小松駅までを結ぶ公共交通は、1時間に1本程度しかない在来線があるのみであり、加賀温泉駅から小松駅までを結ぶ鉄道以外の交通手段を整備することで、観光客や学生、また、交通弱者である高齢者にとっても大きなメリットになると考えられ、広域連携することで事業予算の軽減も図れる。</p> <p data-bbox="515 963 1433 1115">近隣市との交通アクセスを向上させることは、交流人口の増加や人口減少問題・医療問題・高校の魅力向上など加賀市が抱えるあらゆる問題解決につながると考えるが、広域連携を検討してはどうか、所見を問う。</p>

## 川下 勉 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 令和3年度決算と持続的な財政運営について	<p data-bbox="504 360 1230 394">(1) 経常収支比率の改善の要因と今後の見通しについて</p> <p data-bbox="515 443 1433 555">令和3年度決算の経常収支比率は、89.2%と3年ぶりに改善し、加賀市行政改革大綱や加賀市中期財政計画で目標としている93%を下回り、目標を達成している。</p> <p data-bbox="515 562 1433 712">90%を下回ったのは平成17年の新加賀市発足以来、初めてではないかと思うが、コロナ禍で大胆な財政出動を強いられている中、財政指標面でこうした好成績を上げることができた要因をどのように分析しているのか。</p> <p data-bbox="544 719 1185 752">また、今後の推移をどのように見通しているのか。</p>
	<p data-bbox="504 842 1230 875">(2) ウィズコロナを踏まえた財政出動の考え方について</p> <p data-bbox="515 925 1433 1037">コロナ禍を有事と捉え、経済対策や感染防止対策をスピーディーに行ってきたことは、高く評価でき、このための緊急的な財政出動は理解できる。</p> <p data-bbox="515 1043 1433 1193">しかし、コロナ禍の収束が見通せない中、今後はコロナ禍を平時の取組項目として考える必要があり、財政出動にも限りがあると思われる。ウィズコロナを踏まえた新型コロナウイルス対策への財政出動の考え方について問う。</p>
	<p data-bbox="504 1283 1286 1317">(3) 財政調整基金残高と持続的な財政運営の見通しについて</p> <p data-bbox="515 1366 1433 1478">令和3年度末の財政調整基金残高が、加賀市中期財政計画より上振れし、監査委員から目安として指摘された18億円を上回る残高を確保したことは評価できる。</p> <p data-bbox="515 1485 1433 1635">令和3年9月定例会での答弁では、コロナ禍の収束の状況を見通した上で加賀市中期財政計画に反映するとしていたが、先に述べたように収束は見通せない。ウィズコロナを踏まえて、どのように持続的な財政運営を図っていくのか。</p>

## 川下 勉 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
2 公共施設マネジメントの実践について	<p>(1) これまでの実践の振り返りについて</p> <p>山中温泉ゆけむり健康村の在り方の検討を契機として、公共施設マネジメントについての議論が活発になっているが、この基本方針は、平成27年に公表されており、様々なジャンルの施設等において、これまでの取組のよりどころとされてきた。</p> <p>そこで、公共施設の建物について、公表後から昨年度までの間に軽減された管理経費について、実践した施設の数と、軽減額の総額（概算）、及び主要な事例を示せ。</p>
	<p>(2) 当面の実践計画について</p> <p>限られた財源を活かして、新たな先進事業の実施や、人口減少対策事業の拡充を図るためには、公共施設マネジメントの実践により、財源を生み出さなければならない。</p> <p>こうしたことから、当面の実践計画について問う。</p>
	<p>(3) 中長期的な実践方針について</p> <p>先進事業を展開しながら持続的な行政運営を堅持していくためには、加賀市公共施設マネジメント基本方針や、加賀市公共施設マネジメント個別施設計画の実践を積み重ね、施設の管理経費や更新経費を抑制していく必要があると思われるが、一朝一夕に進展を図るのは難しい。</p> <p>中長期的に戦略化して取り組むべきと考えるが、その実践方針について問う。</p>

## 川下 勉 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
3 防災の備えについて	<p>(1) 避難情報の発表について</p> <p>避難指示や高齢者避難などの避難情報は、主要な河川の水位や土砂災害情報などの警戒レベルに基づき発表されるものと理解しているが、先月8月4日の南加賀地方を中心とした大雨のときには、動橋川は氾濫危険水位を超え、いわゆる警戒レベル4に達したにもかかわらず、避難指示が発表されなかった。</p> <p>警戒レベルは、気象庁などの専門的な見地から示されていると理解しているが、今回の市の対応について、市民からは不安を感じたといった声を聞く。</p> <p>防災行政無線の整備が進む中、こうしたものも活用しながら、後手にならないよう避難情報を届けるべきと考えるが、避難情報を発表する判断基準について問う。</p>
	<p>(2) ボランティアの受付や手配の計画について</p> <p>今回の大雨で大きな被害のあった小松市では、災害発生の翌々日から社会福祉協議会にボランティアセンターが立ち上げられ、連日のボランティアの受付と活動場所の手配や、コーディネートを行い、円滑な活動が展開されていたように思われる。</p> <p>本市で同様の事態が発生した場合、担当部署はどこであり、どのような対応を行うのか。</p> <p>また、対応について、何の計画に、どのように位置づけられているのかを問う。</p>
	<p>(3) 災害ごみの処理計画や具体的な処理手順について</p> <p>小松市では、浸水により使用できなくなった家具や大型電化製品が災害ごみとして大量に発生したが、集積場所が遠い、開設期間が短いなどといった苦情も多くあったと聞く。</p> <p>本市における、水害をはじめとする災害ごみの処理計画の策定状況及び具体的な処理手順について問う。</p> <p>また、この計画の各町内会等への周知状況について問う。</p>

南出 貞子 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目 (1)、①、ア）
1 (仮称) 萬松園公園整備事業の進捗状況について	<p>新型コロナウイルス感染症や他の事情により、進捗が当初の予定より遅れているが、いよいよ、9月5日に事業者によるプレゼンテーションが行われるということを受け、現段階での状況と今後の予定を示せ。</p>
2 小中学校統廃合の進捗状況と今後について	<p>平成29年2月に作成した加賀市立小中学校の規模適正化に向けて（基本計画）によれば、令和3年末に三谷小学校は錦城東小学校に統合される計画となっていたが、その後の進捗や現時点で把握している地域の状況を問う。</p> <p>また、今後の方向性として、地元との合意形成を得るため、統合するのか白紙にするのかを含め、どのように進めていくのか。</p>
3 更生保護について	<p>(1) 関係機関との連携について</p> <p>更生保護とは、社会の中での立ち直りを導き、助け、再び犯罪や非行に陥ることを防ぐ仕組みである。具体的には、社会を明るくする運動として、街頭広報やポスター・標語・習字等の提出を通して、誰でも参加できる活動を行っている。</p> <p>加賀市では、加賀保護区保護司会・更生保護女性会・協力雇用主をはじめとした多くの人たちが関わっている中、市として関係機関とどのような形で連携を行っているのか。</p> <p>(2) 加賀市における再犯防止の取組について</p> <p>不幸にして保護観察を受ける状況になった人の改善更生や地元で働く場所などについて、市として当事者や関係機関・事業所に対してどのような支援を行っているのか。</p>
4 産後ケア事業の実施状況について	<p>令和3年度から、市町村が出産後1年までの母子を対象に産後ケア事業を行うことが努力義務となった。</p> <p>加賀市の場合、平成28年度からこの事業を実施しているが、事業概要と実績を示せ。</p> <p>また、産婦は、どのような理由でこの事業を利用しているのか。</p> <p>さらに、利用が終わった人には、どのような支援を行っているのか。</p>

南出 貞子 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
5 加賀市地域おこし協力隊の活用について	<p>(1) 起業した人への支援について</p> <p>他市や他県から加賀市に移住し、地域の活性化につなげる活動として、加賀市で起業している人たちがいるが、地域おこし協力隊を経て起業した人に対する支援はあるのか。</p> <p>(2) 制度の積極的な活用について</p> <p>地域おこし協力隊を経て起業した人が行う事業の中には、小・中学生が教育用コンピューターを使ってオリジナルの作品を作っており、子供たちだからこそ作れる作品や時代に沿った作品などについて、自らが舞台に立ち発表する姿があった。</p> <p>今後、多くの子供たちが参加し、加賀市の「子供博士」が誕生することに期待し、地域おこし協力隊の制度を積極的に活用すべきと思うが、所見を問う。</p>

## 一色 眞一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 豪雨災害対策について	<p>8月4日に発生した大雨は、南加賀地域一帯に甚大な被害をもたらした。ここ数年の特徴として、雨が一部地域に長時間降り続けるいわゆる線状降水帯と言われるものが多く発生している。また、こうした豪雨災害は、一時的なものではなく、近年は、頻発化・激甚化している。これは地球温暖化の一つの現象であると思われ、今までの防災対策の概念を超えたものとなっている。加賀市においても、いつ何時発生しても大丈夫だという備えが必要と考えるが、こうした豪雨災害への具体的な対策について問う。</p>
2 新型コロナウイルス対策について	<p>（1）日本共産党の要請について</p> <p>新型コロナウイルスの第7波が猛威を振るっているが、日本共産党は、7月22日に、以下のことを国に緊急要請した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 発熱外来の体制、高齢者施設等での頻回検査、無料PCR検査を抜本的に強めること。</li> <li>2 医療全体の体制強化、臨時的医療施設・療養施設が機能するよう対策を講ずること。</li> <li>3 保健所の抜本的な機能強化を支援すること。</li> <li>4 ワクチン接種について、必要とする人への接種が円滑に進むよう対策をとること。</li> <li>5 空港検疫を抜本的に強化し、まともな水際対策を行うこと。</li> <li>6 成り行き任せの対応を改め、BA.5系統への対策を明確に示すこと。</li> </ol> <p>以上、6点の要請について、所見を問う。</p>
	<p>（2）PCR検査の無料化について</p> <p>現在、無症状である方のPCR検査について、県では無料とする事業を実施しているが、市においては、有料となっている。</p> <p>市においても、無料化することに対しての所見を問う。</p>
	<p>（3）教育現場への対応について</p> <p>現在、加賀市においてもワクチンの4回目接種の促進を図っているが、8月中旬頃からの陽性者数の激増を受け、夏休み明けには、市内小・中学校において再拡大を不安視する先生方も多いのではないかとと思われる。</p> <p>教育現場の不安の声に寄り添い、安心感を与える対策が必要であると思われるが、具体案について問う。</p>

## 一色 眞一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
2 新型コロナウイルス対策について（つづき）	<p>(4) 市内の感染状況について</p> <p>現時点での市内の感染者数と年代別の内訳を示せ。</p>
3 農業者への支援について	<p>(1) 農業者への対応及び支援策について</p> <p>ウクライナ問題と急激な円安が重なり、物価高騰が市民生活を直撃している。</p> <p>特に、昨年の米価暴落で散々な目にあっている農業者にとっては深刻であり、あらゆる物品が高騰している中、来年の春向け肥料価格は、現在の3倍になるとの試算もある。</p> <p>こういった状況でありながら、加賀市民の食を支えている農業者に応えようとするのは不誠実であり、農業者への支援について早急に検討すべきと考えるが、所見を問う。</p> <p>(2) 漁業者への支援事業について</p> <p>今回の補正予算では、漁業者には、漁業燃料費の支援を行う内容となっているが、農業者への支援策がないことについて、その理由を問う。</p> <p>(3) 加賀市ががんばる事業者応援事業補助金について</p> <p>市では現在、加賀市ががんばる事業者応援事業補助金制度を設置し、事業者の支援を行っているが、農業者を対象とした事業の実績を示せ。</p>
4 一般社団法人てくてくの杜の活動について	<p>(1) 一般社団法人てくてくの杜と今後の関係について</p> <p>一般社団法人てくてくの杜の実質のオーナーである神谷宗幣氏が先日の参議院議員通常選挙に当選し、国会議員となった。</p> <p>これまで市当局は、「神谷氏は政治活動はしていない。一般社団法人てくてくの杜の活動は教育関係での活動」と言って、旧黒崎小学校や旧山中看護学校生徒宿舎を貸し出した経緯がある。</p> <p>しかし、神谷氏が国会議員となった以上、これまでと同様の関係を維持するには無理があり、契約解除などの見直しが必要であると思われるが、所見を問う。</p>



## 一色 眞一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
4 一般社団法人てくてくの杜の活動について （つづき）	（2）一般社団法人てくてくの杜の経営について  一般社団法人てくてくの杜は独立採算とあるが、保育料や寮費の収入だけで経営が成り立っているのか調査が必要である。それを示す財務資料を示せ。
	（3）塾生の募集に関する情報について  参政党のフェイスブックでは、旧山中看護学校生徒宿舎に居住している寮生が「加賀塾」なるものを立ち上げ、塾生を募集していたことを市当局は把握しているのか。
	（4）政治活動に対する考えについて  参政党は、ホームページで、「加賀で神谷氏の教育理念を根付かせたい」と言っている。これは、政治活動そのものと思われるが、所見を問う。
5 故安倍元首相の国葬について	（1）国葬に対する考えについて  故安倍元首相の「国葬」が令和4年9月27日に予定されているが、反対の方が多いという世論調査がある。その理由として、安保法制の強行など憲法違反を繰り返し、アベノミクスで経済格差を拡大し、学校法人森友学園・学校法人加計学園、桜を見る会と言った行政の私物化を進めてきた経緯がある。 また、憲法学者や有識者からも、国葬に対する法的根拠がないといった意見も聞く。 こうした国民の反対多数の意見にもかかわらず行なわれようとしている国葬に対する宮元市長の見解を問う。
	（2）市内の小・中学校への対応について  国葬に当たり、市内の小・中学校に弔意表明を求めることの有無について問う。

## 一色 眞一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
6 旧統一協会等との関わりについて	<p>(1) 報道内容の事実関係について</p> <p>旧統一協会及びその関連団体と政治、行政との関係や、その被害の実態が報道され、閣僚や議員との関係が次々と明らかになっている。</p> <p>去る8月19日の石川テレビで、本市を含む県内5市長が「ピースロード」の式典に出席していたと報じられた。その多くの出席の理由について、「旧統一協会関連と知らなかった」「議員の紹介だった」と説明している。</p> <p>この報道に関しての事実関係を問うとともに、事実であるならば、参加した根拠について問う。</p>
	<p>(2) 外郭団体等との関わりについて</p> <p>これまで市及び本市の関連する外郭団体と、旧統一協会等との関わりを明らかにするとともに、今後、これらの団体との関わりを絶つことについて、所見を問う。</p>
	<p>(3) 被害者の救済について</p> <p>政府は、靈感商法や高額寄付金などで多くの被害者が出ていることから、被害者の救済に当たるため、関係省庁連絡会議を設置した。</p> <p>このことから、市においては、市独自の旧統一協会などからの被害相談窓口を開設し、全国統一協会被害者家族の会や全国灵感商法対策弁護士連絡会議等と連携していくことが必要と考えるが、所見を問う。</p>
7 生理用品の配置について	<p>県では、県立学校の女子トイレに生理用品を配置する事業を令和4年5月に予算化している。</p> <p>また、既に事業を実施している野々市市では、各中学校において、1か月に100個程度の利用実績があるという。</p> <p>いずれも、保健室に置くのでは利用しにくいとのことから、トイレに置いてあると聞く。</p> <p>加賀市においては、令和3年6月から事業に取り組んでいるが、主に保健室での提供となっているようである。</p> <p>必要とする方が気軽に利用するためには、トイレに置くことが望ましいと考えるが、現状と今後の対応について所見を問う。</p>

一色 眞一 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目 (1)、①、ア）
8 市内バス停の屋根の設置について	<p>市内を走る路線バスやキャンバスは、市民及び観光客の足となっている。</p> <p>市内には、屋根のないバス停が見受けられるが、屋根があれば、雨や雪、また夏場の直射日光もしのぐことができる。</p> <p>市民はもとより、観光都市加賀市として、観光客が利用することもあるバス停の屋根の設置は必要であると考えますが、所見を問う。</p> <p>また、市内の路線バスのバス停の数と、屋根があるバス停の数を示せ。</p>

## 若林 高 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 旧黒崎小学校及び旧山中看護学校生徒宿舎の貸付契約について	<p>（1）契約の条件について</p> <p>市は、一般社団法人てくてくの杜と普通財産である旧黒崎小学校及び旧山中看護学校生徒宿舎の使用に関しての契約を締結している。</p> <p>この契約は、加賀市財務規則第195条に規定される条件を満たしているのか。</p> <p>また、旧山中看護学校生徒宿舎の使用に関する契約については、同規則第196条第2号及び第5号に規定する「借り受けた財産は、転貸しないこと」及び「借り受けた財産は、貸付けの目的以外の目的に使用しないこと」という条件を満たしているのか。</p>
	<p>（2）無償貸与について</p> <p>地方自治法第237条の規定により、普通財産は適正な対価なくしてこれを譲渡し、若しくは貸し付けてはならないとされているが、普通財産である旧黒崎小学校が無償貸与された根拠と過程を示せ。</p>
2 政治活動、政治利用について	<p>参政党のユーチューブ動画で、加賀市が政治活動に協力していることが言われているが、事実関係を示せ。</p> <p>また、その動画の概要欄に参政党に献金を促すサイトのURLを掲載し、動画内でも党員を拡大するためのPRをしているが、市も政治利用されているとみなされないのか。</p> <p>さらに、旧山中看護学校生徒宿舎で行われている「加賀塾」は参政党のユーチューブ動画に取り上げられているが、政治活動に利用されていないとみなせるのか、所見を問う。</p>
3 一般社団法人てくてくの杜の活動について	<p>（1）政治活動への関与について</p> <p>一般社団法人てくてくの杜の活動が、参政党の神谷宗幣氏のフェイスブック及び参政党のユーチューブなどで宣伝、広報に掲載されている。市はこのようなことを想定していなかったと思うが、このことは政治利用に当たると思われるが、所見を問う。</p> <p>また、市は、各地区の住民説明会等では「政治活動に関連性があつたら即退去と約束している」と説明している。</p> <p>このことから、一般社団法人てくてくの杜は、市の貸付施設から退去すべきと考えるが、所見を問う。</p>

## 若林 高 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
3 一般社団法人てくてくの杜の活動について （つづき）	<p>（2）旧黒崎小学校のフリースクールについて</p> <p>旧黒崎小学校のフリースクールには、中学校の体育教科の教員免許を持つスタッフしか在籍しておらず、これでは中学生全般の指導を網羅できないと思われる。</p> <p>体育教科以外の教育、指導方法及び中学生たちの調査書の作成方法について問う。</p>
	<p>（3）在籍する生徒について</p> <p>当初の住民説明会では、メンタルの不調などの理由により不登校となった生徒が通うフリースクールとして説明を受けていたが、現状は県外から移住してきた生徒や市内の学校に在籍しており、不登校とはなっていないが、本人の希望によりあえてフリースクールに通う生徒が大半を占めていると聞く。</p> <p>住民説明会で聞いた内容とは異なり、黒崎町の区長や住民からは困惑しているとの声を聞くが、不登校の生徒のみが通うフリースクールであるべきと考えるが、所見を問う。</p>
	<p>（4）一般社団法人てくてくの杜スタッフによる参政党員の勧誘活動について</p> <p>令和4年3月22日の教育民生委員会で、一般社団法人てくてくの杜のスタッフが参政党の石川支部に入るよう勧誘されたことで、党派的な内容に準じているのではないかと質問したが、いまだに回答を受けていないため、当局の所見を問う。</p>
4 加賀市の教育行政について	<p>（1）方向性について</p> <p>参政党の3つの重点政策の中の「1. 子供の教育」と市の教育行政の方向性があまりにも合致しているように思われるが、所見を問う。</p>
	<p>（2）文部科学省からの派遣職員の任用の経緯について</p> <p>どのような経緯で任用されたのか、詳細を示せ。</p>

## 若林 高 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
4 加賀市の教育行政について （つづき）	<p>（3）教育長としての任命について</p> <p>次期教育長の任命候補だと言われているが、このように中央省庁からの人選は初めてであると思われる。 教育長として適任であると思われる点を示せ。</p>
5 新型コロナウイルスの現状について	<p>（1）PCR検査について</p> <p>PCR検査は、ウイルスの遺伝物質が含まれていない水を検査しても、陽性になることがあると聞く。 市は、PCR検査が新型コロナウイルスの感染を判断する検査として有効だと考えているのか、所見を問う。</p>
	<p>（2）保育園、学校現場などにおけるマスクの着用実態について</p> <p>不織布マスクのフィルターの目とウイルスの大きさを考えると、必ずしもマスクの着用が効果的でないと考えますが、実際の現場における対応について問う。</p>
6 職員のメンタルヘルスについて	<p>（1）対象職員の把握及び対応について</p> <p>メンタルに不調を抱えている職員がいると聞くが、そのような職員をどのようにして把握しているのか。 また、このような職員のための相談窓口の配置等が必要であると思うが、対応方法について問う。</p>
	<p>（2）メンタルヘルス対策について</p> <p>メンタルの不調を未然に防ぐためには、日常の仕事量の平準化や、異動したばかりの職員及び新人職員が早く仕事に慣れるための対策などが必要であると思うが、庁舎内でこのような対策は取られているのか。</p>

## 林 俊昭 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
1 防災緊急情報伝達システム（防災行政無線）整備事業について	<p>（1）財源について</p> <p>整備費用は、全て起債で賄うとのことだが、これまで防衛省からの補助を受け、整備してきたが、今回、なぜ単独事業なのか。</p>
	<p>（2）追加整備の内容と効果について</p> <p>追加整備の場所はどこか。 また、なぜその場所が選ばれたのか。 さらに、整備後、放送が聞こえない地域というのは解消されるのか。</p>
	<p>（3）今後の在り方について</p> <p>屋外スピーカーを整備するよりも、戸別受信機を全世帯に配備するか、エリアメールを迅速に流したほうが市民の安心・安全の確保につながると考えるが、所見を問う。</p>
2 北前船寄港地フォーラム参加事業について	<p>（1）3つのイベントの参加自治体について</p> <p>日本側とフランス側、それぞれ何自治体が参加するのか。 また、加賀市としてプレゼンテーションや物産展などを行う予定はあるのか。</p>
	<p>（2）費用対効果について</p> <p>一般財源を700万円使って、どのような具体的成果を期待しているのか。 また、参加した自治体の中で、今後、どのような連携を図っていくのか。</p>

## 林 俊昭 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
3 加賀市・小松市・能美市 北陸新幹線開業合同プロモーション事業について	<p>(1) 「オール加賀会議」について</p> <p>今回のプロモーション事業などは、オール加賀会議が主体となって実施することで、南加賀全域に波及的効果を生み出すのではないかと考えるが、加賀市としてオール加賀会議の現状をどのように捉えているのか。</p> <p>また、南加賀地域の自治体とどのように連携していくつもりなのか。</p>
	<p>(2) 「加賀立国1200年」について</p> <p>令和元年度から小松市と能美市が連携し、遺跡にまつわるイベントやマップの作製、フィールドワークなどが行われてきているようだが、なぜ、加賀市はこの取組に参加していないのか。</p> <p>また、小松市などからお誘いはなかったのか。</p> <p>さらに、今からでも連携していく予定はないのか。</p>
4 加賀市家庭教育支援条例について	<p>(1) 条例に基づく施策展開について</p> <p>条例の制定から現在に至るまでどのような施策展開が行われてきたのか。</p> <p>また、平成27年6月定例会での教育民生委員会の委員長報告からの意見を踏まえ、アンケート調査や支援計画の策定などについて、実施の有無を含めたこれまでの経過を問う。</p>
	<p>(2) 条例の見直しについて</p> <p>民放テレビの「報道特集」ワイドショーなどを中心に、各自治体の「家庭教育支援条例」に関して、憂慮すべき報道がなされているが、この条例の見直しや廃止について、検討するつもりはないのか。</p>
5 漁業者への漁船燃料費支援事業について	<p>(1) 国の「漁業経営セーフティーネット構築事業」との整合について</p> <p>市として漁船燃料の購入量に対し、1リットル当たり15円の助成を行うとのことだが、国の漁業経営セーフティーネット構築事業との整合について、重複や過剰助成などの懸念はないのか。</p>



## 林 俊昭 議員

質問事項（大項目）	質問要旨（小項目（1）、①、ア）
5 漁業者への漁船燃料費支援事業について （つづき）	<p>（2） 共済金や保険金について</p> <p>今回の燃油価格高騰は、漁業者にとって死活問題であり、このような状況を乗り切るための共済制度と考えるが、共済や保険からの補填は期待できるのか。</p>
6 航空自衛隊小松基地における日米共同訓練について	<p>（1） 基地周辺地区への情報提供について</p> <p>市は、いつ、防衛省から訓練の実施について連絡を受けたのか。 また、基地周辺地区や加賀市基地周辺整備協議会にどのような情報提供や説明を行ったのか。 さらに、防衛省や小松基地から加賀市基地周辺整備協議会に対し、説明の機会があったのか。 加えて、訓練期間中にF-16戦闘機の不具合やタイヤの空気が抜けたことについて、基地周辺の住民に対し、速やかに情報提供が行われたのか。</p>
	<p>（2） 議会への情報提供について</p> <p>訓練の実施に対し、市当局から基地対策特別委員会の開催要請がなかったようだが、なぜ、開催を要請しなかったのか。 また、F-16戦闘機の不具合等は、議会の開会中に起きた事案であり、早急に基地対策特別委員会の開催を要請すべきと考えるが、所見を問う。</p>